

# 佐渡米通信

# こめ〜る

2019年 **11**月号

発行日:2019年11月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部米穀販売課 藤巻  
Jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

## 暴風雨のあとの晴れ間に 田んぼアート稲刈りを実施!

春に、100名以上の島内外の方が集まって田植えを行った「田んぼアート」の稲刈りを、10月5日に行いました。生協関係者70名と佐渡の子供たち30名、大正大学の学生に加えて、島内農家等も参加し、120名余りの稲刈りとなりました。前日まで、台風からかわった爆弾低気圧により、暴風と高波が発生しており、島外参加者の来島さえ危ぶまれていましたが、参加者全員の気持ちを通じて、参加予定者全員そろって快晴の中で稲刈りが実施できました。絵柄部分は手刈りし、周囲のコシヒカリについてはコンバインで刈り取りを行いました。大型コンバインに乗車してその刈取りスピードに驚く人たちの歓声がほ場内に響き、昼前には無事全ての作業が終了しました。



稲刈り前の記念撮影



絵柄の細かい箇所も、皆で丁寧に刈取り

ほら、こんなに  
刈れたよ

## 令和元年産米の集荷・検査状況について

10月21日現在、コシヒカリの1等米比率は54.4%となっています。

本年は、8月中旬の台風によるフェーン現象の為、登熟不良を招き、「乳心白粒」が多く発生しています。特に、水不足により灌水が出来なかったほ場では、高温障害による影響を受けてしまいました。しかし、佐渡米未来プロジェクトにより、秋の土づくりや中干し時期のケイ酸施用をきちんと行ったところでは、1等米に仕上げられており、平成22年の同じく高温障害を受けた年(1等米比率22%)までは落ちこむことはありませんでした。



今年のコシヒカリ1等米です



## トキの折り紙で佐渡の取り組み説明

9月29日、「コープみらいフェスタ 池袋サンシャインシティ」が開催され、JA佐渡もトキの折り紙づくりのコーナーで、生協組合員の皆様と交流を行いました。「トキの折り紙」を折りながら、トキの生態や田んぼとトキの関係などの説明も行い、子供だけでなく大人も楽しんで折り紙をしていました。今回紹介した折り方は2種類あり、しっぽを引っ張ると羽がパタパタと動く「ぱたぱたトキ」が人気でしたが、「家でもう1種類のトキも作りたい」と専用折り紙と折り方見本を持ち帰る方が大勢いらっしゃいました。



ぱたぱたトキの動画が  
ご覧になれます



ぱたぱたトキ(左) 千羽トキ(右)

むずかしいなあ

大丈夫、  
こうすれば...

ほんとだ、お父さん  
うまく出来たよ!

